

ラジオ，ヒーター，エア・コンディショナーの使い方

ラジオ，ステレオの使い方	41
アンテナ	41
ラジオ	41
ヒーター，エア・コンディショナーの使い方	44
サイド・ベンチレーター	44
ヒーター	44
エア・コンディショナー	46
オート・エア・コンディショナー	48



ラジオ, ステレオの 使い方

■アンテナ

ビラー・アンテナ

STD車は除く

使用時は、いっぱいに引き出します。

ウィンドウ・シールド・アンテナ

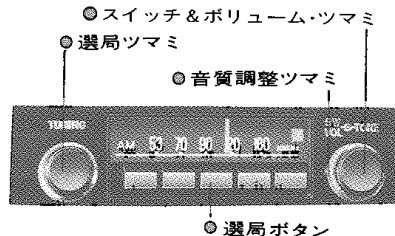
グランデ車のみ

リヤ・ウィンドウ・ガラスにうめ込んでありますから、常に受信できます。

■ラジオ *

エンジン・スイッチが、ONまたはACCの位置のときにスイッチ&ボリューム・ツマミを押すと電源がはいります。

AMラジオ



<選局ボタンのセット>

1. 選局ボタンの1つを、いっぱいに引き出します。
2. 選局ツマミで、ダイヤル指針を希望の局に合わせます。
3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。あとはダイヤル指針がどこにあっても、このボタンを押せばセットした局が受信できます。他のボタンも、同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

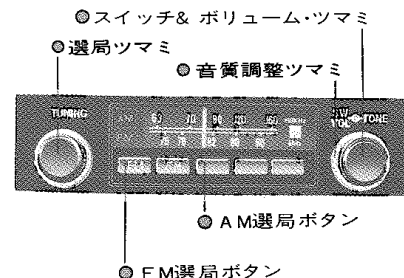
<音量調整>

スイッチ&ボリューム・ツマミを左右に回し、適当な音量に調整します。

<音質調整>

音質調整ツマミを左右に回します。

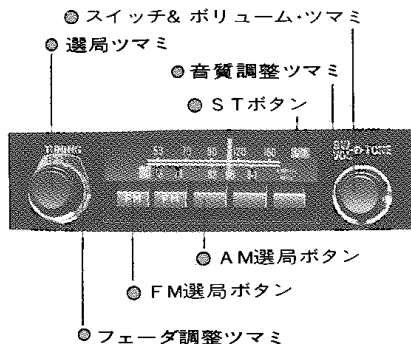
AM/FMラジオ



<選局ボタンのセット>

右側3つのボタンでAM 3局
左側2つのボタンでFM 2局
がセットできます。
他はAMラジオと同じです。

AM/FMマルチ・ラジオ



1. STボタンを押すと、ステレオ・インジケーター・ランプが点灯してFMステレオ放送を聞くことができます。
2. STボタンを、もう一度押すとFMモノラルになります。

<フェーダ調整>

フェーダ調整ツマミを、右に回すとフロント・スピーカーの音量が増し、左に回すとリヤ・スピーカー（2コ）の音量が増します。

<FMステレオを上手に聞くには>

ステレオで聞いているとき、ビル、山の陰、電波の弱いところでは、シャーシャー

と雑音がいり、ステレオ・インジケーター・ランプが点滅することがあります。この場合は、故障ではありません。

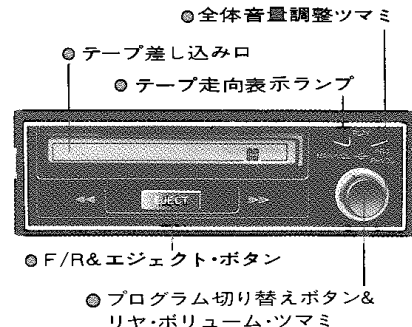
STボタンをもう一度押しモノラルにすると聞きやすくなります。

<雑音が気になるとき>

受信電波が雑音電波より弱い場合、プツプツと雑音がいります。その場合は、次のように操作してください。

1. エンジンをつけた状態で選局ダイヤルを雑音の一番少ないところへ合わせ直してください。
2. さらに気になるときは音質調整ツマミを左へ回し低音にすると聞きやすくなります。

AMラジオ付きカセット・ステレオ AM/FMラジオ付きカセット・ステレオ



<演奏開始>

カセット・テープを差し込み口に、ロックされるころまでまっすぐ差し込んでください。テープ走行表示ランプが点灯し、演奏が始まります。このときラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

<音量、音質調整>

1. 音量調整は、ラジオのボリューム・ツマミを右いっぱいに戻し、カセット・ステレオのリヤ・ボリューム・ツマミも右いっぱいに戻します。
2. カセット・ステレオの全体音量調整

つまみで全体の音量を調整します。フロント・スピーカーの音量が大きいときはラジオのボリューム・つまみで、リヤ・スピーカーの音量が大きい場合はカセット・ステレオのリヤ・ボリューム・つまみを左に回して小さくして、前後のスピーカーの音量を調整してください。

3. 全体スピーカーの音質は、ラジオの音質調整つまみで調整してください。

〈プログラム切り替え〉

プログラム切り替えボタンを押すと、テープ走向表示ランプが切り替わり、テープ走行方向の切り替えができ、お好みのプログラムが選べます。

〈オート・リバース〉

テープ演奏が終わると自動的にプログラムが切り替わります。

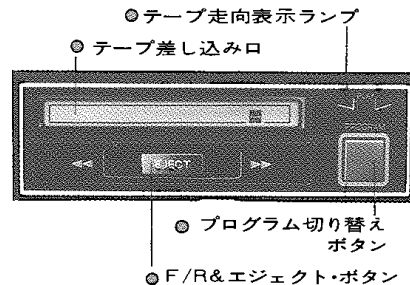
〈早送り (FF)、巻きもどし (REW)〉

1. テープ走向表示ランプの点灯している方向と同じ方向にF/R&エジェクト・ボタンを斜めに押すと早送り、逆方向F/R&エジェクト・ボタンを斜めに押すとテープの巻きもどしができます。
2. 解除する場合は、F/R&エジェクト・ボタンをもとにもどしてください。

〈演奏停止〉

演奏を停止させテープを取り出したいときはF/R&エジェクト・ボタンを強く押し込んでください。カセット・テープが差し込み口に押し出され同時にテープ・プレーヤーの電源もOFFになります。

AM/FMマルチ・ラジオ付きカセット・ステレオ



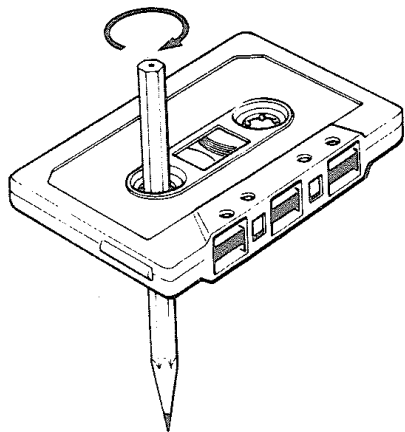
AM/FMラジオ付きカセット・ステレオと同じ取り扱いですが、スピーカーの音量、音質の調整はラジオで行ないます。

☆C-120テープ、クローム・テープは使用しないでください。テープが巻きついたり、ヘッドの摩耗を早めます。

☆演奏している状態で、エンジン・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

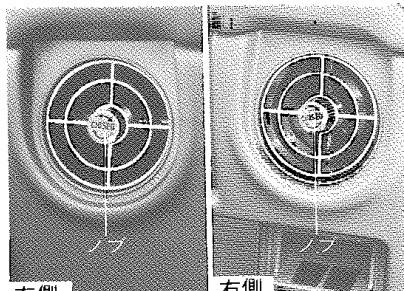
☆テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。

★テープは、鉛筆などのかかる外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



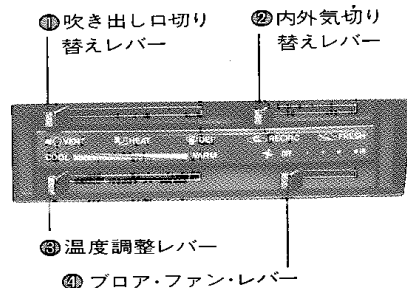
ヒーター、 エア・コンディ ショナーの 使い方

■サイド・ベンチレーター



ヒーターを操作することにより、ベンチレーター、サイド・デフロスターとして使用します。風向きは自由に調節できます。ベンチレーションをとじるときは、ノブを右に回してください。

■ヒーター *



冷風（外気）と温風を混合して、好みの温風を得られるフル・エア・ミックス方式です。

サイド・ベンチレーターは、ドア・ガラスの曇りを取り除くサイド・デフロスターとしても使用できます。

①吹き出し口切り替えレバー

VENT……センター・ベンチレーターおよびサイド・ベンチレーターから吹き出します。

HEAT……主に足元から吹き出し、サイド・ベンチレーターからも吹き出します。

DEF……主にデフロスターから吹き出し、サイド・ベンチレー

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

ターからも吹き出します。
レバーは無段階に調整できます。

吹き出し口の風量の割合をお好きなように調整できます。

②内外気切り替えレバー

RECIRC…内気循環式、急速に車内を暖めるとき、または外気がよごれているときなど一時的に使用します。

FRESH…外気導入式に切り替わります。

③温度調整レバー

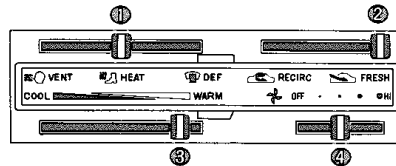
COOLから**WARM**まで無段階に温度を調整できます。

④ブロー・ファン・レバー

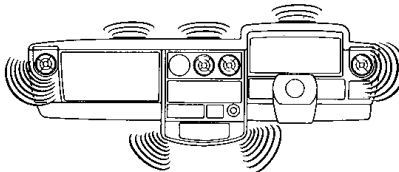
風量を、4段階に調整できます。

室内暖房

〈レバーのセット位置〉



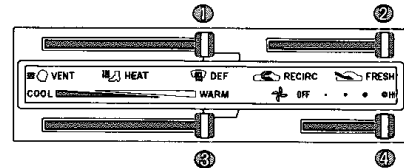
〈温風の流れ〉



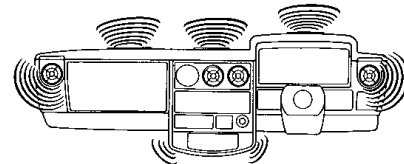
1. 換気をよくするため②のレバーは必ず**FRESH**にしてください。
2. 顔が少し熱く感じられた場合は③のレバーを左に動かしてください。デフロスター側からの温度が下がり快適な頭寒足熱暖房になります。
3. ④のレバーは一段目から**HI**の間で調整してください。

フロント・ガラス、ドア・ガラスの曇り
を取るとき

〈レバーのセット位置〉



〈温風の流れ〉

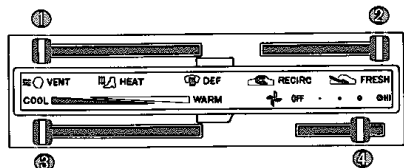


1. サイド・ベンチレーターをあけてドア側に向けると、ドア・ガラスの曇りが取れます。
2. ①のレバーを**DEF**と**HEAT**の間になれば、同時に足元も暖められます。
3. 曇りが取れたら**HEAT**側にしてください。
4. ④のレバーは一段目から**HI**の間で調整してください。

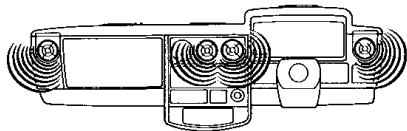
強制ベンチレーション

(早く換気したいとき)

〈レバーのセット位置〉



〈風の流れ〉

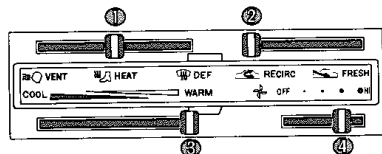


外のさわやかな風がセンター・ベンチレーターおよびサイド・ベンチレーターから吹き出します。

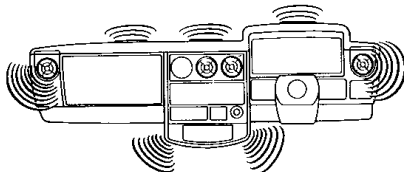
④のレバーは一段目からHIの間で調整してください。

急速暖房

〈レバーのセット位置〉



〈温風の流れ〉



1. 早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的にRECIRCを使用します。
2. 通常はFRESHの位置にしてください。



②のレバーがRECIRCのとき①のレバーをDEFにしないでください。ガラスが曇り危険です。

■エア・コンディショナー *

ヒーターにクーラーを組み付け、暖房、冷房はもちろん、湿気も取り去るオールシーズン・タイプです。

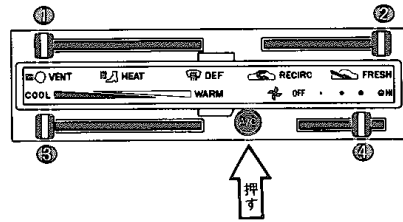
1. 暖房操作は、ヒーターの項目をご参照ください。
2. 暖房時に(A/C)スイッチを押せば、除湿暖房ができます。

この項では冷房、除湿の操作について説明します。

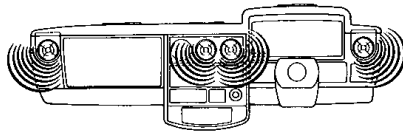
エア・コンディショナーをクーラーとして使用するとき、ドア・ガラスをしめてください。

通常冷房

〈レバーのセット位置〉



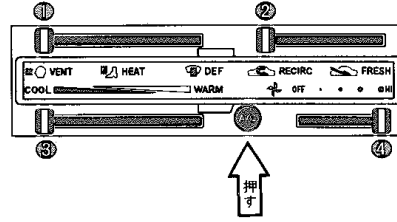
〈冷風の流れ〉



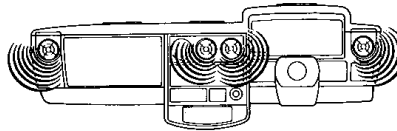
1. 室内の換気をし、湿気を取り快適な冷房をします。通常走行中は、この位置で使用してください。
2. ③のレバーを COOL から WARM の間で調節し、快適な温度にしてください。
3. ④のレバーは一段目から HI の間で調整してください。

最大冷房

〈レバーのセット位置〉



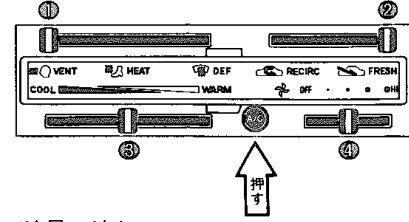
〈冷風の流れ〉



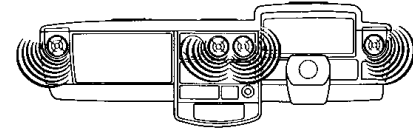
1. 直射日光にさらされ室温が非常に高いとき早く室温を下げるには、全ドア・ガラスを下げて換気した後冷房してください。
なお、この位置で長時間の使用はしないでください。
2. 通常は②のレバーを FRESH にしてください。

除湿

〈レバーのセット位置〉

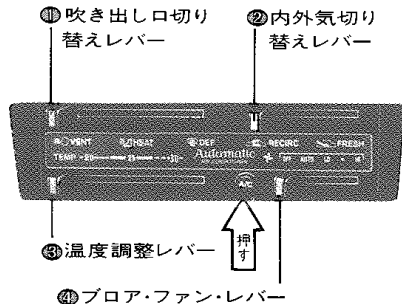


〈冷風の流れ〉

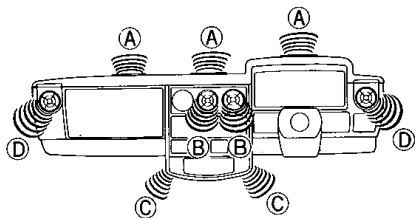


- 梅雨時など曇りやすいとき、室内の湿気を取り除きます。
③のレバーは COOL から WARM の間で調整します。

■オート・エア・コンディショナー *



コントロール・レバーを一度セットすれば、室内を常に快適な湿度に自動コントロールできます。



操作方法

1. (A/C) スイッチをONにします。
2. ②のレバーをFRESHにします。通常はこの位置でご使用ください。急速暖房あるいは急速冷房したいときは、RECIRCを使用してください。

3. ③のレバーをお好みの温度に合わせます。平均室温が希望温度になるよう自動的に作動します。
4. ④のレバーをセットします。
OFF……送風停止
AUTO……風量が自動的にHIからLOWにコントロールされ、希望温度に保たれます。
LO・HI……風量が、手で3段階に調整できます。ただし、この場合室温は温度レバーの目盛りに対し多少ずれることがあります。
5. ①のレバーを切り換えます。
VENT……強制ベンチレーター・クーラーとして使用するとき
〈吹き出し口—B, D〉
HEAT……ヒーターとして使用するとき
〈吹き出し口—C, D, (A)から少し〉
DEF……窓ガラスの曇りを取るとき
〈吹き出し口—A, D,

(C)から少し〉

- ★冬期に、エア・コンディショナーをヒーターとして使用する場合は、(A/C) スイッチをOFFにしてください。
- ★除湿が必要な場合はONにしてください。